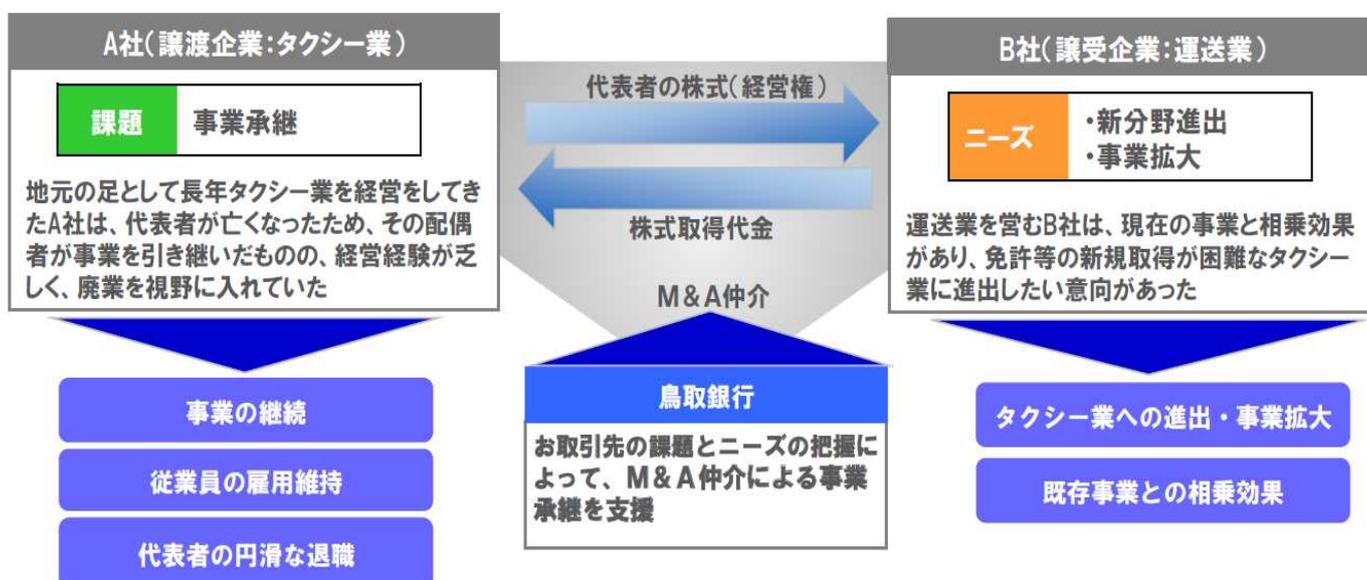


銀行名	鳥取銀行
タイトル	M & Aの仲介による事業承継支援及び新分野進出支援
取組み内容	<p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当行取引先である税理士事務所から、代表者の交代に伴って、事業継続に悩む顧問先の相談を受けた。</li> <li>・ 税理士事務所の顧問先A社は、地元の足として長年タクシー業を営んできたが、代表者が亡くなったため、その配偶者が事業を引き継いだものの、経営経験が乏しく、廃業も選択肢の一つに考えていた。</li> </ul> <p>【取組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A社の事業承継の課題を解決するため、タクシー業への進出や事業拡大を希望する企業等の情報を行内で調査。その結果、当行取引先であるB社（運送業）が、現在の事業と相乗効果があり、免許等の新規取得が困難なタクシー業に進出したいというニーズを把握した。</li> <li>・ 当行は、A社及びB社とM &amp; Aに関する契約を締結した後、条件面の交渉を経て、M &amp; Aを仲介。その結果、A社とB社は株式譲渡に関する契約を締結するに至った。</li> </ul> <p>【成果（効果）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A社の課題とB社のニーズを把握、マッチングすることによって、以下のとおり、M &amp; A仲介による事業承継支援及び新分野進出支援につなげることができた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>事業（タクシー業）の継続</li> <li>A社の従業員の雇用維持</li> <li>A社の代表者の円滑な退職</li> <li>B社の新分野進出、事業拡大</li> </ul> </li> </ul>



銀行名	鳥取銀行
タイトル	格付開示によるコンサルティング機能の発揮と関係強化
取組み内容	<p><b>【動機（経緯）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・携帯電話販売業を営むA社は、地域内で一定の市場を確保していたが、親会社から借入や仕入先へのマージン（手数料）支払が収益を圧迫していた。</li> <li>・当行では、平成25年12月より、コンサルティング機能の発揮とお取引先企業との関係強化を目指して、当行が統一的な尺度で評価した格付をお取引先に対して開示する「格付開示サービス」を開始。</li> <li>・「格付開示サービス」は、格付の開示のみならず、特徴的な財務指標をピックアップして解説させていただくことで、財務内容の改善や課題解決に役立ててもらおうことを目指している。</li> <li>・「格付開示サービス」の開始と同時に、取組時より格付が改善した場合に金利を引き下げる融資商品「ビジネスパートナーズローン」の取扱いを開始した。</li> </ul> <p><b>【取組み内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当行は、A社に対して「格付開示サービス」に基づいて格付を開示するとともに、財務内容についてより踏み込んで協議した。その結果、経営課題として、財務内容の改善に継続して取組んでいくこととなった。</li> <li>・同時に「ビジネスパートナーズローン」を取組み、複数の借入を一本化し、資金繰りを緩和した。さらに、収益圧迫の要因となっていた支払マージンを削減するため、当面の在庫手当資金として「ビジネスパートナーズローン」による追加融資を取組んだ。</li> </ul> <p><b>【成果（効果）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・融資取組みの結果、A社の資金繰りは緩和されるとともに、同社の収益性も改善し、債務者区分も上方遷移した。</li> <li>・格付として、当行の評価を伝えるだけでなく、その背景となる財務内容や経営課題を共有することにより、強固な信頼関係を構築することができた。</li> </ul> <div data-bbox="443 1601 1101 2060" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>〇×〇〇×〇〇×〇〇×〇〇×〇株式会社 御中</span> <span>御社様 9999年99月99日</span> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>ととぎん 格付開示サービス</p> <h2>格付開示資料</h2> <p>当行における御社の評価・財務面からの現状認識</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 格付開示資料</li> <li>2. その他</li> </ol> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  <p>鳥取銀行</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div> <div style="font-size: small; margin-top: 20px;"> <p>◎本資料の一部または全部の複製・複製・引用等については、その形態を問わずお断りいたします。ご利用・ご活用は、御社様限りでお断りいたします。</p> <p>◎本資料は株式会社鳥取銀行が、独自の判断に基づいて決定・作成したものであり、何ら御社の格付等を費用または保証するものではありません。</p> <p>◎万一、本資料に起因して御社または第三者に損害が生じても、当行は何ら責任を負うものではありません。</p> </div> </div>

銀行名	鳥取銀行
タイトル	山陰海岸ジオパークフェア開催による観光振興と販路拡大支援
取組内容	<p><b>【動機（経緯）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山陰海岸の世界ジオパークの再認定及びエリアの拡大を契機に、当行は但馬銀行とともに山陰海岸ジオパークの認知度を向上させることを目的として、地域活性化イベントを企画・検討した。</li> </ul> <p><b>【取組み内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>27年10月、当行と但馬銀行の共催で「山陰海岸ジオパークフェア」を開催。両行の主要営業エリアである山陰海岸を基点とした観光及び産業振興や地域活性化を図るべく、観光振興に関する講演会と食品商談会を開催。</li> <li>観光振興に関する講演会では、地域経済活性化支援機構（REVIC）等から講師を招き、自治体職員や観光事業者等が参加。講演では、地域間連携により、滞在価値を向上させることで、観光振興や地域への経済波及の効果が高まるため、観光地の「魅力」と「滞在」の両方を意識したビジネスを創り上げることが促された。</li> <li>食品商談会は、地域の食品関連企業や6次産業化に取り組むアグリ事業者の販路拡大支援を目的に開催。県外のスーパーマーケットや百貨店など食品関連バイヤー6社を招聘。両行お取引先から34社が参加し、個別面談方式で83件の商談が行われた。</li> </ul> <p><b>【成果（効果）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光振興に関する講演会では、広域連携と滞在型観光の重要性等を自治体職員等にお伝えし、観光振興や地方版総合戦略に基づく施策の実現に貢献することができた。</li> <li>食品商談会では、県外バイヤーを招聘したことにより、お取引先企業の県外への販路拡大を支援するとともに、山陰の豊かな食材を県外にPRした。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p><b>【ジオパーク講演会】</b></p> </div> <div style="text-align: center;">  <p><b>【山陰海岸ジオパーク食品商談会】</b></p> </div> </div>

銀行名	鳥取銀行												
タイトル	農業を通じた連携・交流と地域活性化支援												
取組み内容	<p><b>【動機（経緯）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取県では、高齢化や担い手不足など様々な問題を抱えている農村と、地域活性化などの社会貢献活動や新事業創出に取り組もうとする企業の連携によって鳥取県内の農村地域の維持や再生を目指した活動を「とっとり共生の里づくり」と称し、推進していた。</li> <li>・平成 27 年 3 月、当行はその活動や趣旨に賛同し、鳥取県智頭町五月田集落、鳥取県、智頭町との間で「とっとり共生の里づくり」の活動協定を締結。</li> </ul> <p><b>【取組み内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動期間は、平成 27 年 4 月から 5 年間を目処とし、活動地域は鳥取県智頭町五月田集落。</li> <li>・具体的な活動は、遊休農地を再生し有効活用するため、農地の草刈りや農道・用水路を整備。また、新たに生産する農産物の検討や苗の植え付け、収穫等を実施。</li> </ul> <p>(平成 27 年度活動内容)</p> <table border="1" data-bbox="443 1070 1468 1294"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>参加者 (行員及びその家族)</th> <th>活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 27 年 5 月</td> <td>46 名</td> <td>ブルーベリー・さつまいもの苗木植え付け</td> </tr> <tr> <td>平成 27 年 8 月</td> <td>36 名</td> <td>畑の草刈りと農業水路の清掃作業</td> </tr> <tr> <td>平成 27 年 11 月</td> <td>59 名</td> <td>さつまいもの収穫と玉ねぎ等の植え付け</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【今後について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き農業を通じた集落との連携・交流を図るほか、当行のネットワークや外部機関との連携を通じて、集落で生産された農産物の加工・開発及び販路拡大や 6 次産業化を支援していく。</li> </ul> 	時期	参加者 (行員及びその家族)	活動内容	平成 27 年 5 月	46 名	ブルーベリー・さつまいもの苗木植え付け	平成 27 年 8 月	36 名	畑の草刈りと農業水路の清掃作業	平成 27 年 11 月	59 名	さつまいもの収穫と玉ねぎ等の植え付け
時期	参加者 (行員及びその家族)	活動内容											
平成 27 年 5 月	46 名	ブルーベリー・さつまいもの苗木植え付け											
平成 27 年 8 月	36 名	畑の草刈りと農業水路の清掃作業											
平成 27 年 11 月	59 名	さつまいもの収穫と玉ねぎ等の植え付け											

銀行名	鳥取銀行								
タイトル	ふるさと納税を促進する定期預金の取扱いと地元特産品の販路拡大支援								
取組み内容	<p><b>【動機（経緯）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当行では、県内外の幅広いお客さまとインターネットを通じた預金取引の拡大を目指し、インターネット上の店舗「とっとり砂丘大山支店」の開設を検討していた。</li> <li>・ 全国の銀行がインターネット支店を開設していたなか、当行独自で特色のある商品・サービスを提供したいと考え、また、地域金融機関として、行政や地元企業と連携し、地元をPRする仕組みを検討していた。</li> </ul> <p><b>【取組み内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成27年3月のインターネット支店の開設と同時に、鳥取県へのふるさと納税を促進する「故郷とっとり応援定期預金」の取扱いを開始。</li> <li>・ 本定期預金は、利息の一部を「ふるさと納税」として、鳥取県に代行納税（寄附）するとともに、代行納税（寄附）のお礼の品として地元特産品を用意し、発送するもの。</li> </ul> <p><b>【成果（効果）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本定期預金の対象者は、インターネット上で口座を開きいただいた鳥取県外居住の個人の方であり、お礼の品として、カニなどの海産物、乳製品、牛肉などの地元特産品を用い、送付することで、地元の魅力を全国に向けてPRした。また、当行取引先企業の商品等を用い、取引先企業の販路拡大を同時に支援。</li> <li>・ 本定期預金の取扱開始によって、鳥取県へのふるさと納税を促進し、財政の安定化に貢献することなどが認められたことから、鳥取県より「ふるさと納税特別パートナー企業」の第1号に認定。</li> </ul> <p>(故郷とっとり応援定期預金 取扱実績)</p> <table border="1" data-bbox="496 1550 1003 1809"> <thead> <tr> <th></th> <th>27年度実績 (平成28年3月末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>お預入件数</td> <td>152件</td> </tr> <tr> <td>お預入金額</td> <td>7.6億円</td> </tr> <tr> <td>納税額</td> <td>1.5百万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>定期預金の利息の一部を「ふるさと納税」として、鳥取県への代行納付（寄附）した額</p> 		27年度実績 (平成28年3月末)	お預入件数	152件	お預入金額	7.6億円	納税額	1.5百万円
	27年度実績 (平成28年3月末)								
お預入件数	152件								
お預入金額	7.6億円								
納税額	1.5百万円								